

テーマ：『 自然とふれ合う体験を大切に理科学習 』

佐野市立 田沼小学校

Tel. 0283-62-0047 担当者： 松本 喜好



■実践内容:

田沼小学校では、自然、特に動植物とのふれ合いをとおして、子どもが生命のすばらしさや、人を含めた環境との関わりを大切に感じ、地域を、そして人を、さらには地球を愛する心を育成するために、理科、総合などの時間を利用した学習を実践しました。

実践した主な内容は、まず、「学校にホタルを！」という目標のもと、ホタルの幼虫や、そのえさとなるカワニナを飼育したり、観察するための飼育施設を作ったりしました。さらに、学校の住環境改善を目標に、グリーンカーテンを作ることになりました。そして、ヒョウタンやゴーヤなどの植物の栽培を行いました。

■実践成果:

当初、昆虫や植物を育てる実践をもとに、自然を愛する心情を育成しようと考えて活動してきましたが、成果はそれだけにとどまりませんでした。ホタルの飼育においては、たった数匹しかふ化しなかったにもかかわらず、成虫の観察会を夜間実施したところ、大勢の保護者・子どもが連夜来校し、ホタルを観察しました。さらに、ヒョウタンやゴーヤを栽培したことにより、見事なグリーンカーテンが完成しただけでなく、収穫したゴーヤなどを、子どもや家庭に届けたり、運動会において地域の高齢者にも手渡したりすることができ、豊かな人間関係を培う一助となりました。

■実践ポイント:

命をもった動植物に関わったことが、子どもの心に小さな灯をともしることにつながったのはもちろん、生物が存在する環境作りの大切さや、植物のもつ環境を改善する力を感じたり、さらには地域そしてそこに住む人々と学校との結びつきを育んだり、子どもの健全育成につながる実践となったことです。